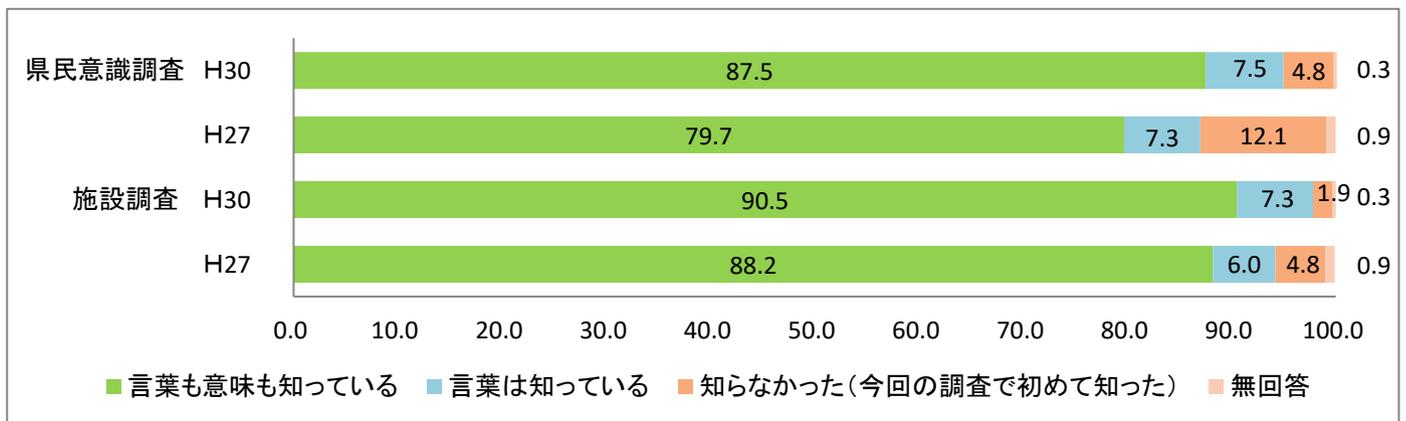


平成30年度 受動喫煙に関する県民意識調査及び施設調査の結果について

◆ 設問別回答状況

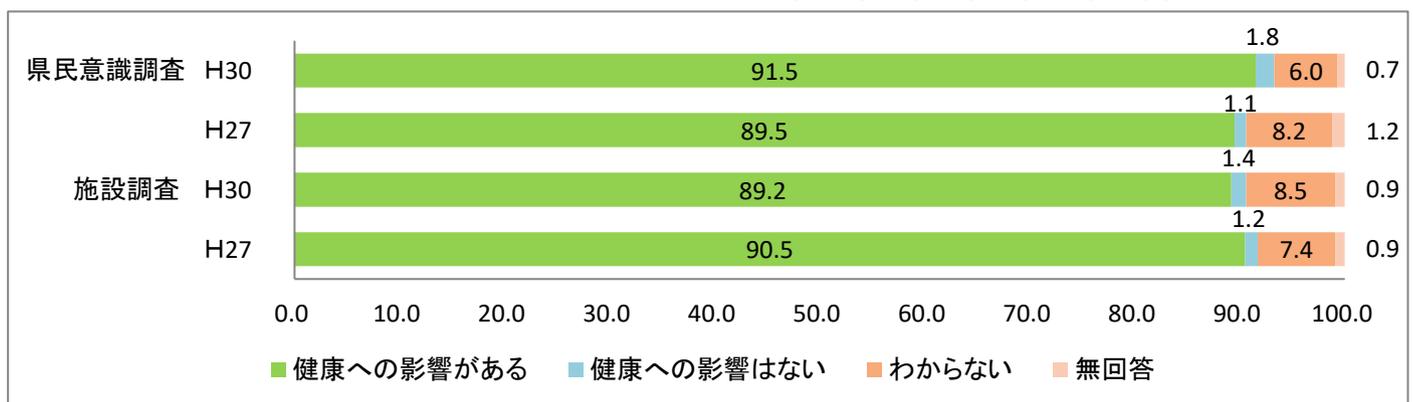
「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」の検討に関連する調査結果を抜粋して記載

○ 【県民・施設問1】 「受動喫煙」という言葉の認知状況⇒**条例第2条**関連

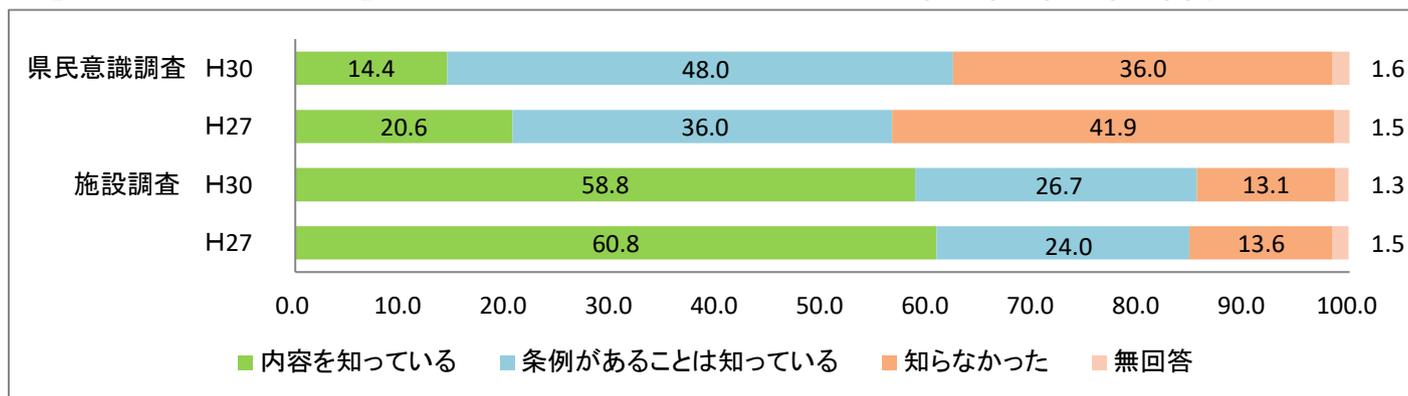


○ 【県民・施設問2】 「受動喫煙の健康影響」についての認知状況

⇒**条例第1条、第3条～第5条**関連



○ 【県民間 6 ・ 施設問 4】 「受動喫煙防止条例」 の認知状況⇒**条例第3条～第5条関連**



※施設調査には「内容を少し知っている」という選択肢もあり、上記グラフは便宜上「内容を知っている」に含めた。（内容を知っている＝26.1%、内容を少し知っている＝32.7%）

○ 【県民間 7 ・ 施設問 5】 「受動喫煙防止条例」 の内容で知っていること（複数回答）
⇒**条例第3条～第5条、第10条、第13条、第15条、第21条、第23条関連**

	県民		施設	
	H27	H30	H27	H30
不特定又は多数の者が利用する室内又はこれに準ずる環境での受動喫煙を防止する。	79.5%	84.9%	85.5%	82.2%
学校、病院、官公庁は禁煙である。	82.5%	90.5%	75.6%	79.0%
飲食店、ホテル等は禁煙又は分煙である。	80.1%	86.8%	80.5%	79.1%
小規模の飲食、宿泊、パチンコ店等は努力義務である。	<u>47.4%</u>	<u>51.1%</u>	<u>49.7%</u>	<u>54.2%</u>
全ての施設で、条例の基準を満たした喫煙所の設置が可能である	—	—	29.7%	<u>28.3%</u>
施設の入口に禁煙又は分煙の表示をしなければならない。	<u>46.1%</u>	<u>51.9%</u>	<u>51.4%</u>	<u>50.3%</u>
保護者が一緒でも喫煙所や喫煙席（区域）に未成年者を立ち入らせてはならない。	<u>36.4%</u>	<u>46.2%</u>	<u>37.1%</u>	<u>42.8%</u>
喫煙が禁止されている場所で喫煙した場合、罰則（過料）が科される。	<u>62.0%</u>	<u>67.0%</u>	—	—
施設管理者が条例で定められている義務を果たさない場合、罰則（過料）が科される。	<u>38.8%</u>	<u>43.0%</u>	<u>41.2%</u>	<u>40.8%</u>
無回答	8.9%	1.1%	0	3.3%

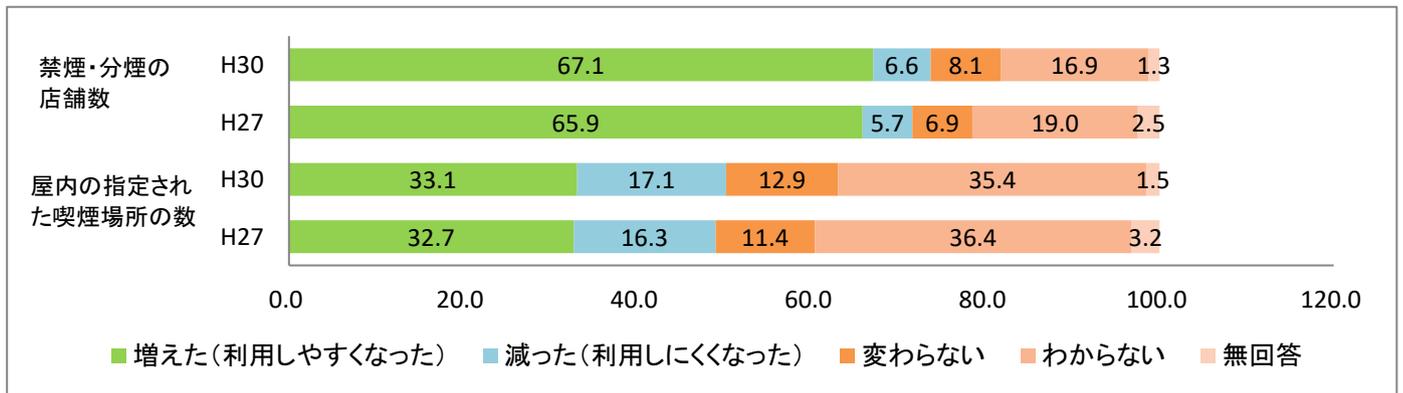
○ 【県民間 8 ・ 施設問 6】 「受動喫煙防止条例」 を知った手段（複数回答）
⇒**条例第3条～第5条関連**

※上位 5 位を記載

	平成27年度		平成30年度	
	県民	施設	県民	施設
テレビ・ラジオ番組	39.6%	33.5%	43.2%	43.2%
新聞報道	30.9%	37.8%	36.8%	43.6%
禁煙や分煙の表示	34.8%	—	35.3%	20.9%
県のたより	30.1%	34.7%	31.1%	28.4%
市町村の広報紙	26.9%	28.7%	29.8%	23.7%

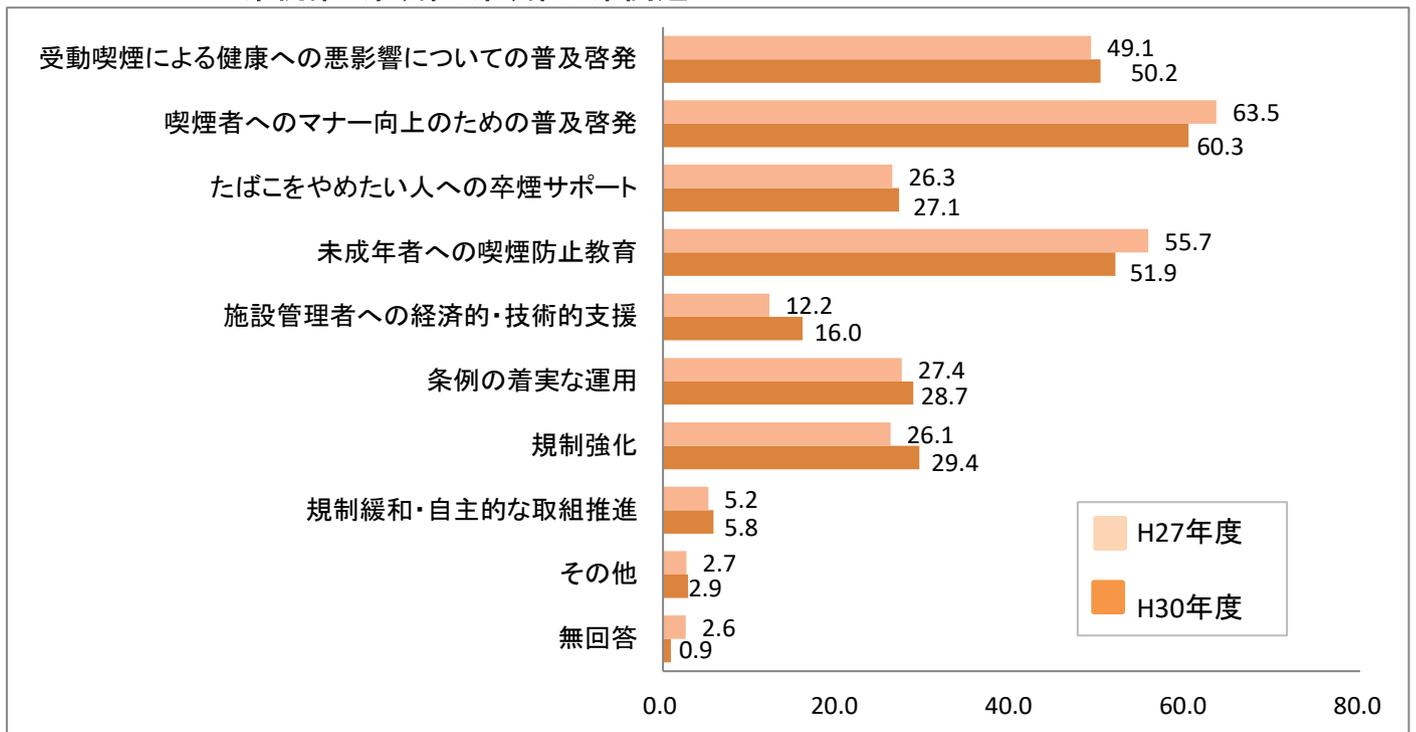
※H27年度施設調査には「表示」の選択肢がない

○ 【県民間10】 受動喫煙防止対策状況について感じていること⇒**条例第10条、第11条関連**



○ 【県民間11】 受動喫煙防止対策について、県に期待すること（複数回答可）

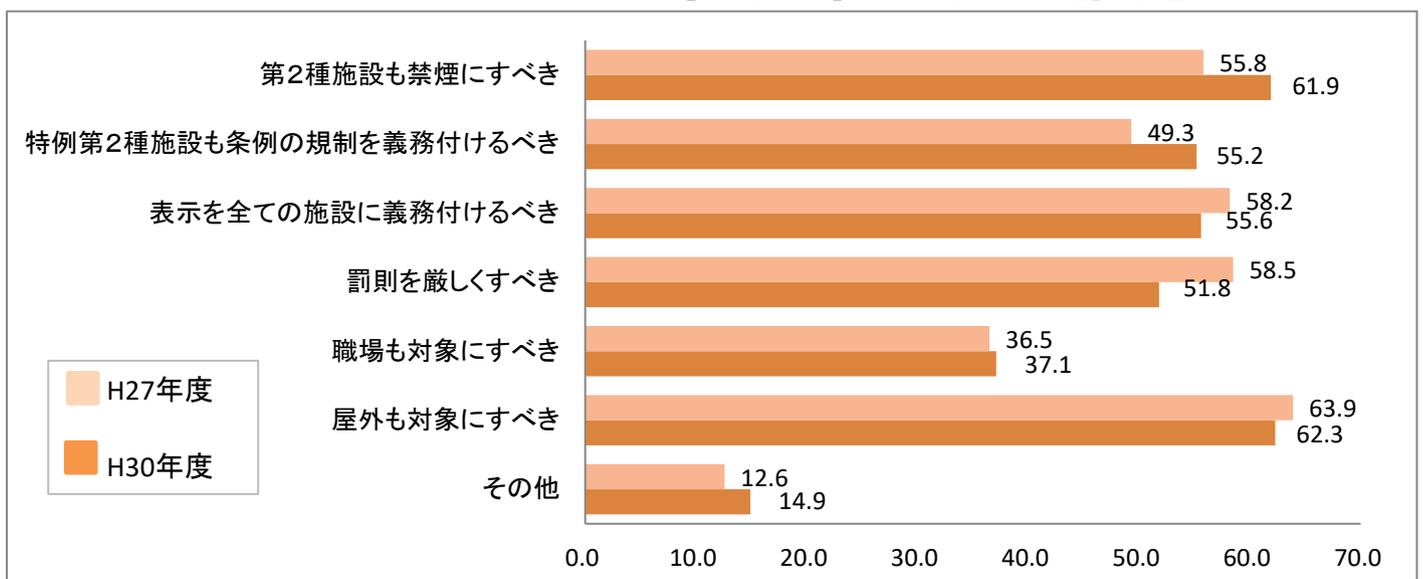
⇒**条例第6条、第9条、第21条関連**



○ 【県民間12】 受動喫煙防止条例の規制について、どのように強化すべきか（複数回答可）

⇒**条例第2条、第3条～第5条、第21条関連**

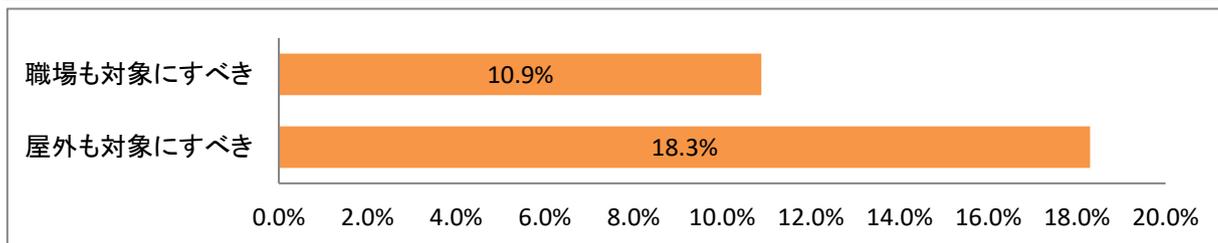
(※【県民間11】で「規制の強化」を選択した者のみ回答)



(参考) 【県民間12】 について以下の項目について全体の総数から見た割合

⇒**条例第2条、第3条～第5条関連**

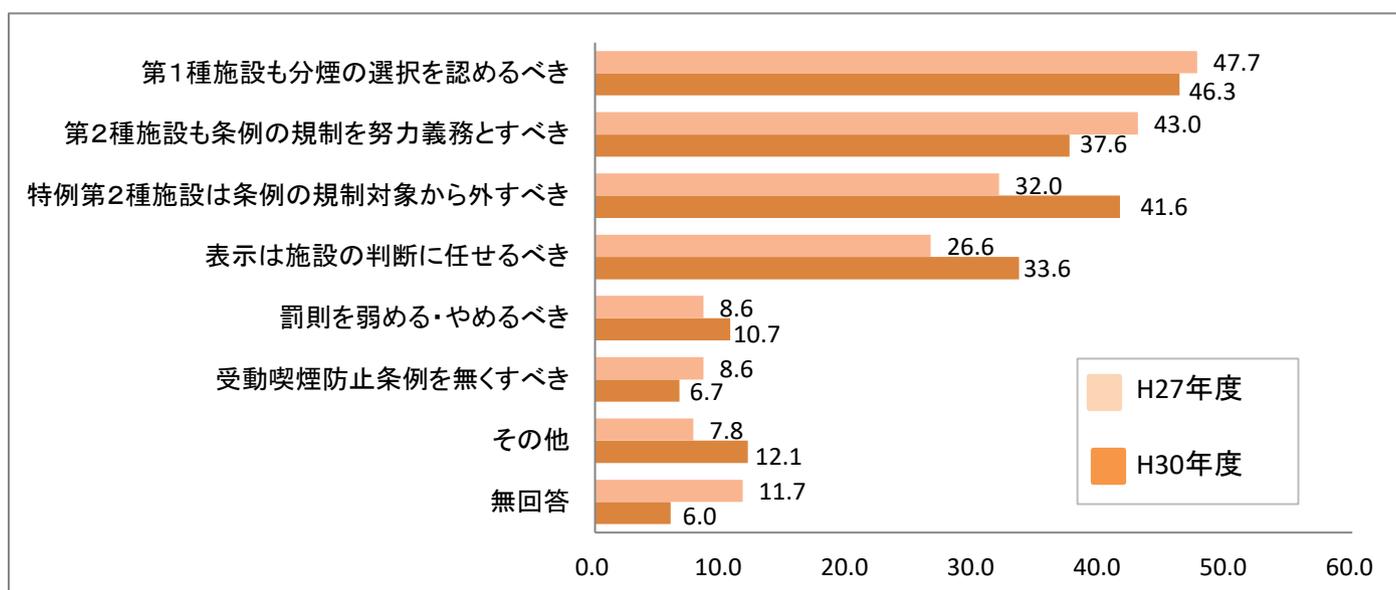
※ 母数を問11で「規制の強化」を選択した者(753)から全体(2,563)に改め、回答者全体での割合を示す。



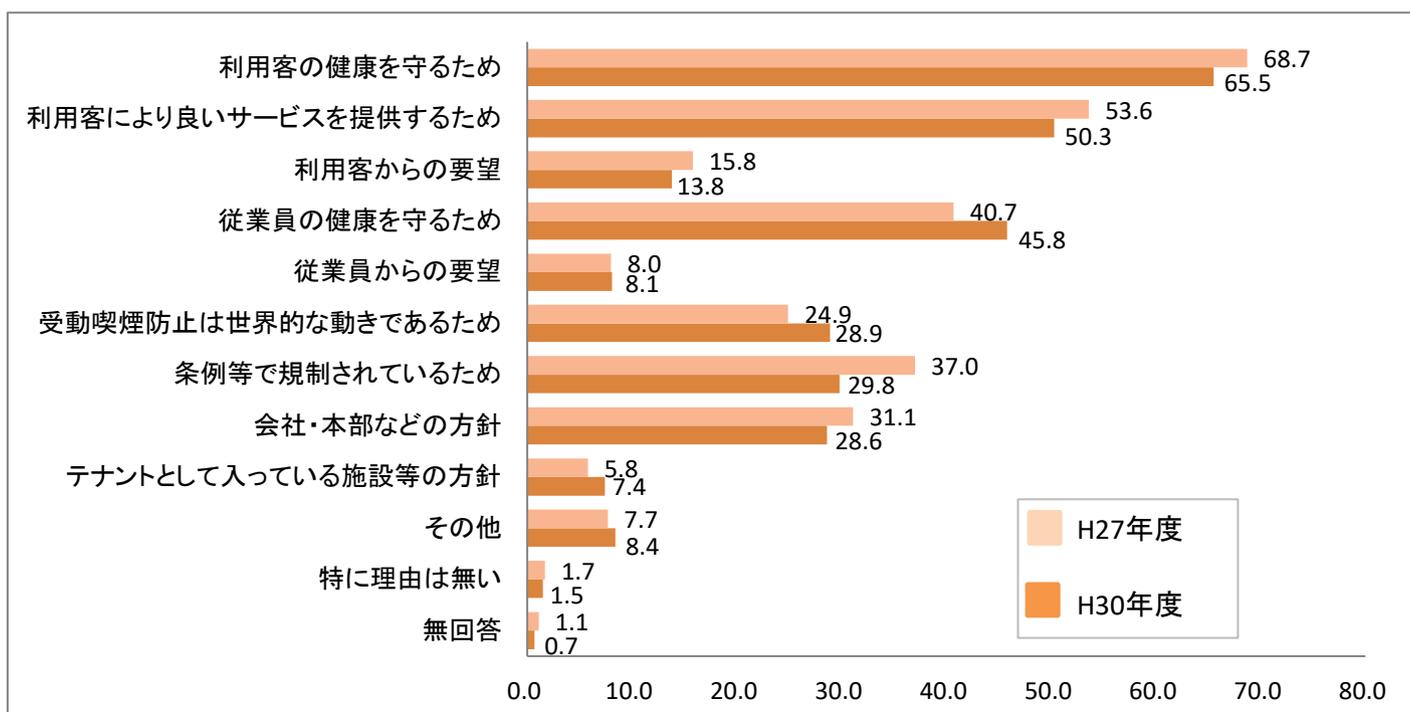
○ 【県民間13】 受動喫煙防止条例の規制について、どのように緩和すべきか(複数回答可)

⇒**条例第21条関連**

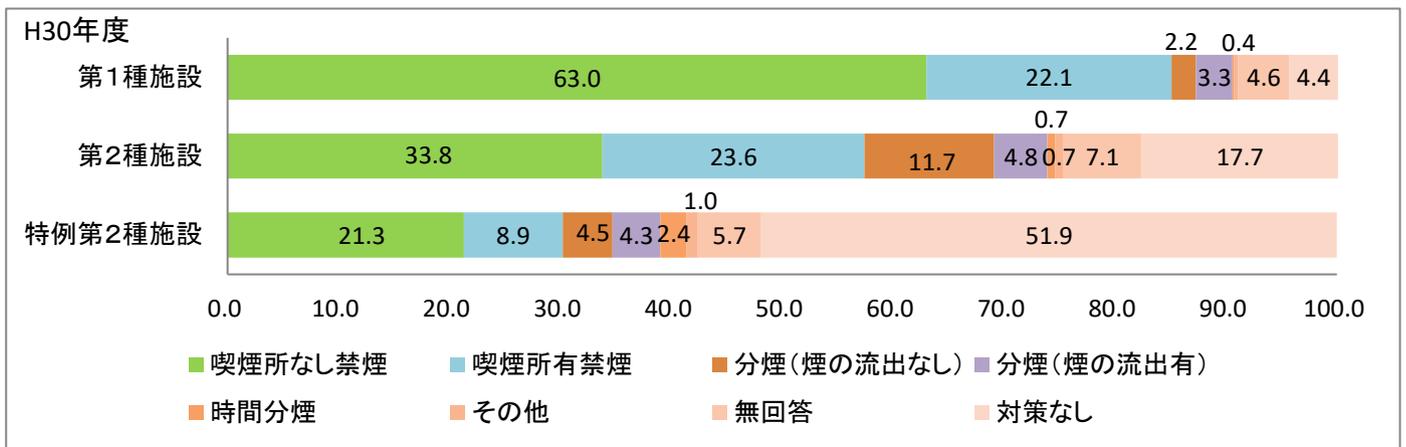
(※【県民間9】で「規制の緩和」を選択した者のみ回答)



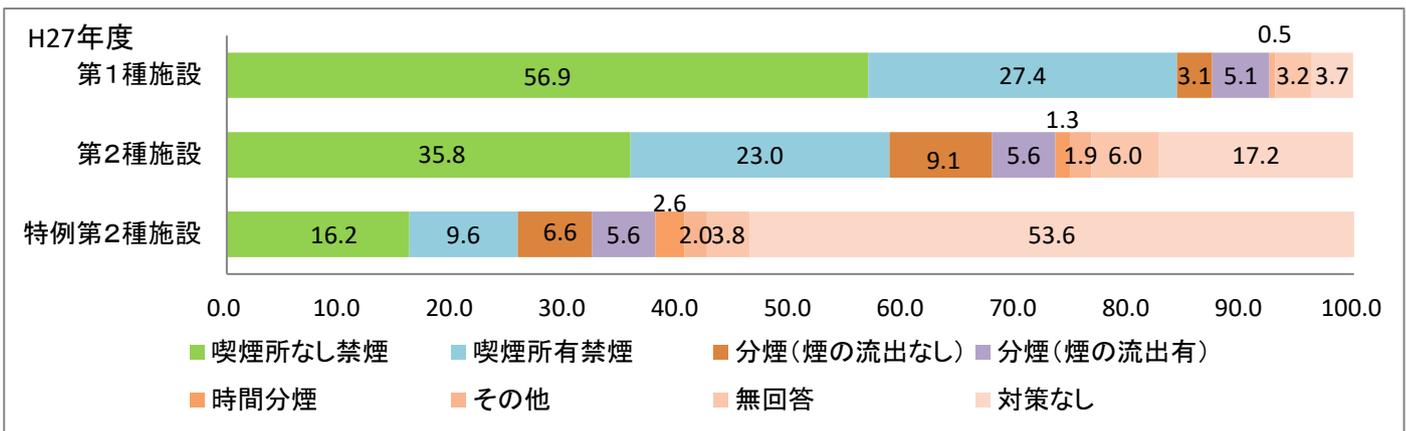
○ 【施設問8】 受動喫煙防止対策に取り組んでいる理由⇒**条例第9条関連**



○ 【施設問9】 講じている受動喫煙防止対策⇒**条例第10条、第11条関連** ※第1種施設の時間分煙は0.1

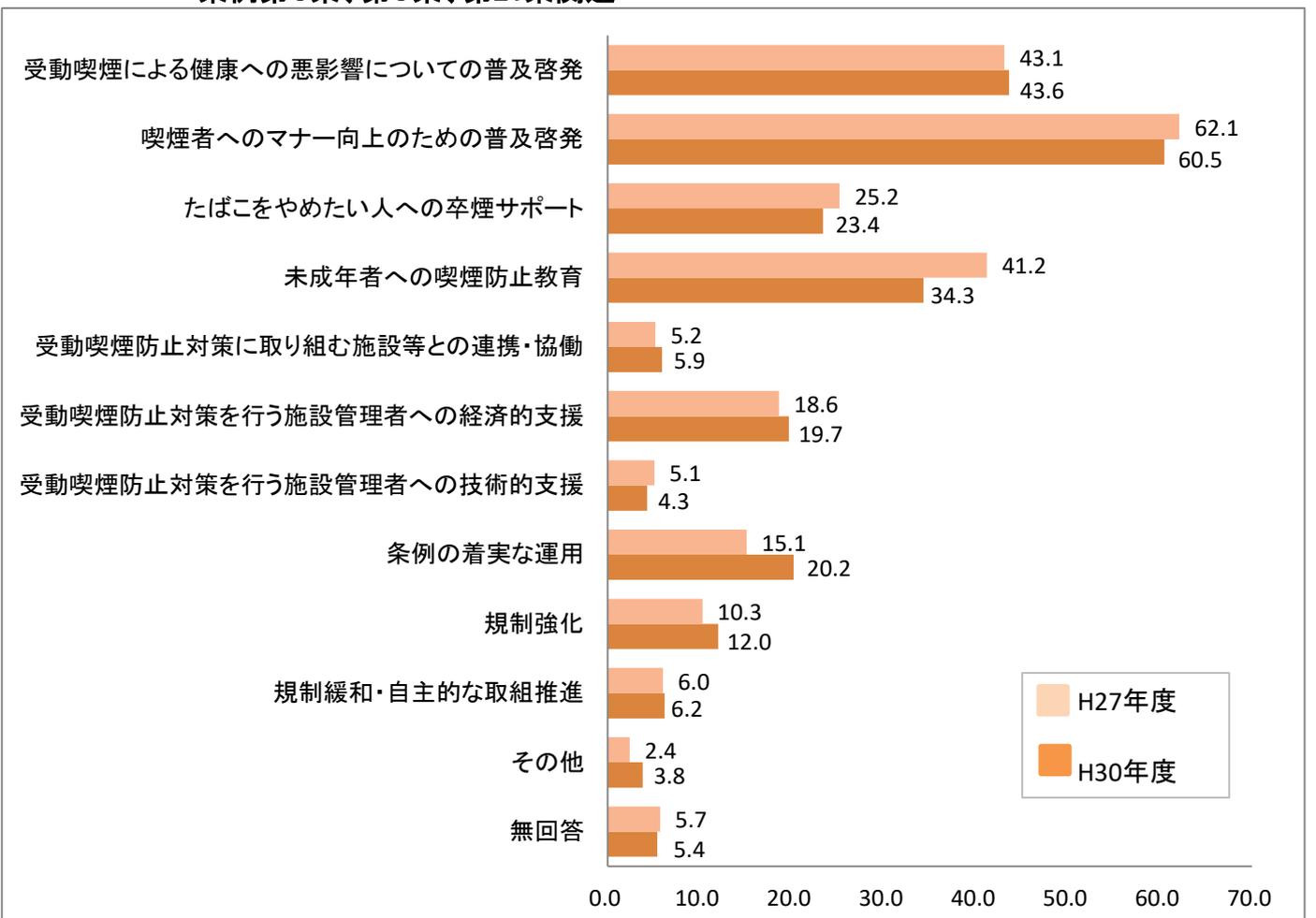


(参考) H27年度 講じている受動喫煙防止対策 ※第1種施設の時間分煙は0



○ 【施設問13】 受動喫煙防止対策について、県に期待すること（複数回答可）

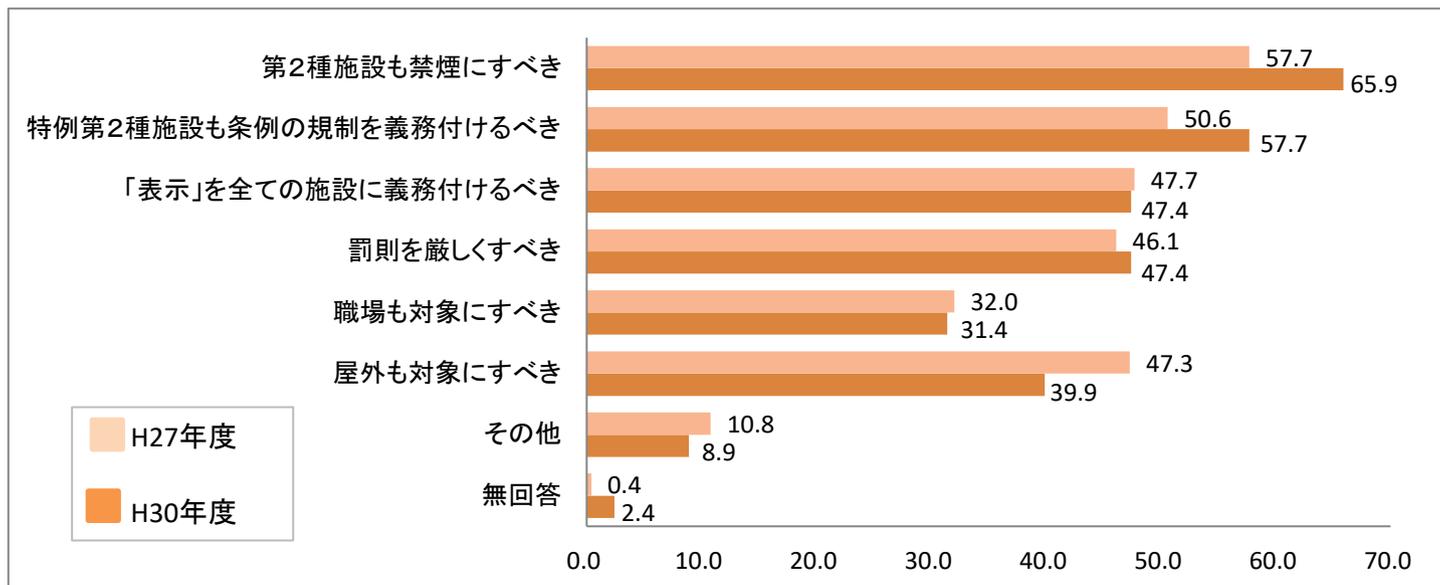
⇒**条例第6条、第9条、第21条関連**



○ 【施設問14】 受動喫煙防止条例の規制について、どのように強化すべきか（複数回答可）

⇒ 条例第2条、第3条～第5条、第21条関連

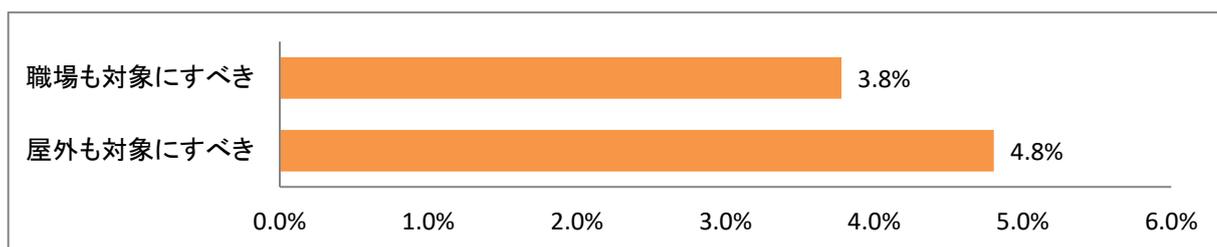
（※【施設問13】で「規制の強化」を選択した者のみ回答）



（参考）【施設問14】について以下の項目について全体の総数から見た割合

⇒ 条例第2条、第3条～第5条関連

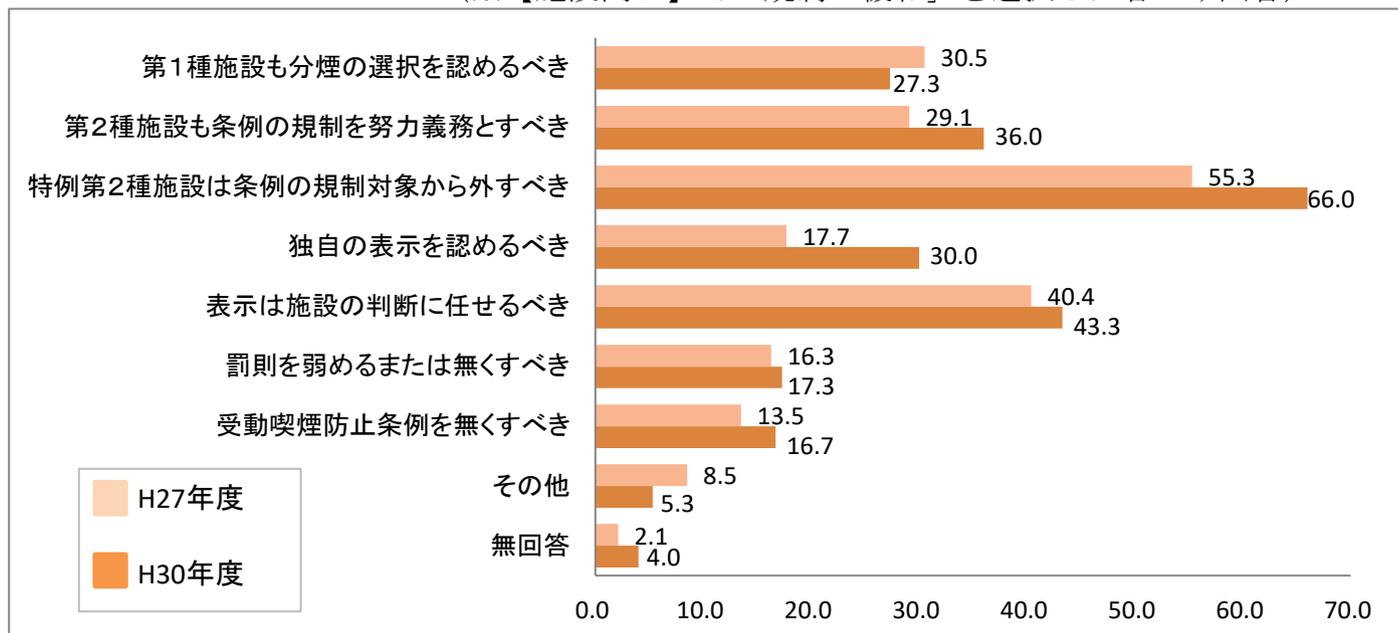
※ 母数を問13で「規制の強化」を選択した者（293）から全体（2,434）に改め、回答者全体での割合を示す。



○ 【施設問15】 受動喫煙防止条例の規制について、どのように緩和すべきか（複数回答可）

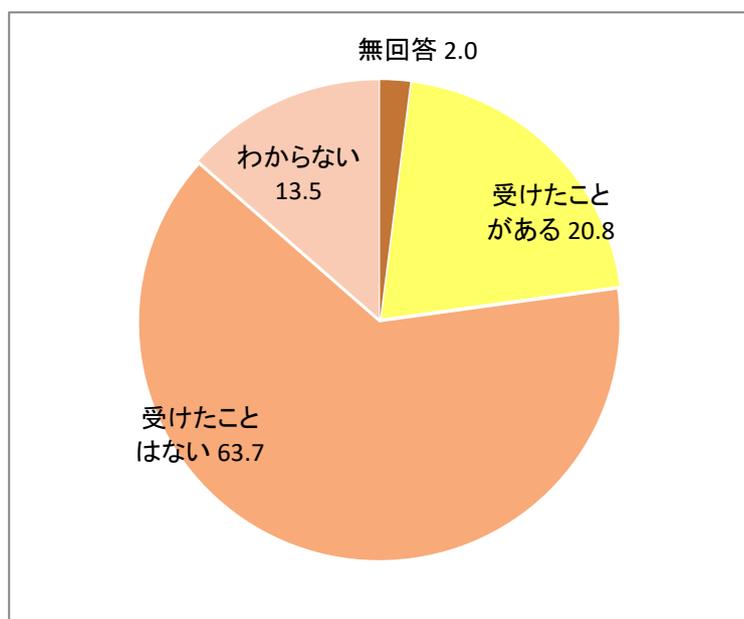
⇒ 条例第21条関連

（※【施設問13】で「規制の緩和」を選択した者のみ回答）



【受動喫煙に関する健康への悪影響についての普及啓発】

- 【県民間 4】 学校等在学中、たばこの健康被害や受動喫煙防止に関する教育を受けたことがあるか。 ※H30年度からの設問 ⇒条例第6条関連



- 【県民間 5】 学校等在学中、たばこの健康被害や受動喫煙防止に関する教育を受けたのはいつ頃か。（※【県民間 4】で「受けたことがある」を選択した者のみ回答（複数回答可） ⇒条例第6条関連

